

BOX FOR TISSUE FOR CLEANING GERM ON TOILET SEAT

Patent Number: JP2002045304
Publication date: 2002-02-12
Inventor(s): ODA CHIEKO
Applicant(s): ODA CHIEKO
Requested Patent: ☐ JP2002045304
Application Number: JP20000267719 20000802
Priority Number(s):
IPC Classification: A47K10/20
EC Classification:
Equivalents:

Abstract

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide a box for storing tissue for cleaning germs on a toilet seat to use the toilet hygienically without carrying a spray for cleaning germs on the toilet seat.
SOLUTION: A portable toilet seat cleaner of germs, such as spray and tissue paper are always ready in a bathroom. Moreover, when toilet paper is filled up, the tissue inside the box can also be checked to supplement.

Data supplied from the esp@cenet database - I2

BEST AVAILABLE COPY

(11)特許出願公開番号

特開2002-45304

(P2002-45304A)

(43)公開日 平成14年2月12日(2002.2.12)

(51) Int.Cl.7

識別記号

FI

テーマート* (参考)

A 4 7 K 10/20

A 4 7 K 10/20

A

審査請求 有 請求項の数9 書面 (全 5 頁)

(21)出願番号 特願2000-267719(P2000-267719)

(22)出願日 平成12年8月2日(2000.8.2)

(71)出願人 500337521

小田 智恵子

東京都多摩市永山5丁目10番16号

(72)発明者 小田 智恵子

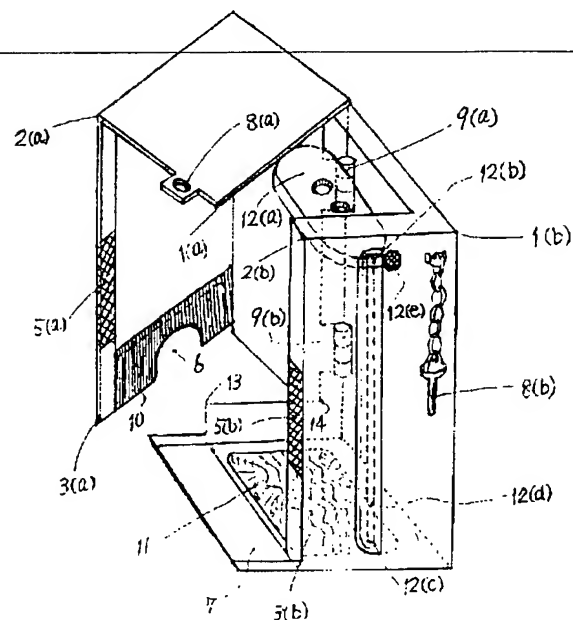
東京都多摩市永山5丁目10番16号

(54)【発明の名称】 トイレ便座除菌ティッシュ入れボックス

(57) 【要約】

【課題】—トイレ便座という人間の肌が直接触れる部分に関する課題である。近年、皮膚病や感染症が世間を騒がせている。そのような中、“公衆便所”や多人数が利用するトイレ以外、清掃員が常時巡回するデパートやホテルのトイレでさえ、汚れに遭遇する。（特記すれば女子トイレにおいての血液の汚れである）抗菌便座が開発されたが、現実、液状や固形の付着物があれば、肌や衣服に付着しないか不安になる。安心感を得るためには前者の後始末をしなければならない。早急に改善、実施出来るものはないか。

【解決手段】 本発明は、最近発売された携帯用便座除菌クリーナとスプレーを見て、各自が持ち歩くより常備することで課題解決となると考えた。そしてトイレットペーパー補充時にボックス内のティッシュの補充のチェックも出来るよう考案した。自ら便座を拭くことで安心納得できる点から最良の解決手段と考える。



BEST AVAILABLE COPY

【特許請求の範囲】

【請求項1】 従来、個人用の携帯便座除菌クリーナなど小パック化されたものだけが存在しているだけである。よって、図1斜視図 のボックス全体を含む。

【請求項2】 ボックスの開閉に関して、図1の8

(a)を、手前に引くことで、扉を開く、図1の1(a)と1(b)、2(a)と2(b)、3(a)と3(b)を接触し、5(a)と5(b)のマグネット部で扉は閉じた状態になる。そして、8(a)の○の穴に8(b)のクサリで繋がったT棒を差し込めば、錠の役をする。

【請求項3】 図1の12(a)は、ティッシュを途中ねじれたりしないよう、順序よく下がっていかせる“おもし”である。この“おもし”に手を付け、外部からティッシュの減少を把握する役をさせる。

【請求項4】 図7(c)で拡大したが、“おもし”手の通り路からゴミ侵入を最小限にする為のカバーを付け、入り口部分にブラシ状のゴミ避けを付ける。

【請求項5】 図1、図2の10は、ティッシュ取り出し口部である。この部分を軟らかな材質にし、ティッシュを取り出し易くし、手や指先への衝撃を少なくする。

【請求項6】 図1の11(図10で拡大図で示す)は、ティッシュを取り出し易くする為にボックス内の底部に波型の凸凹片を設置した。

【請求項7】 今後、新しく製造販売されるトイレットペーパーホルダーには、本発明を接続・セットされたものも入れる。

【請求項8】 本発明は、公衆の利用するトイレを主に考案したが、個人住宅やホテル、病院の入院用個室等々が、インテリアの一部として設置する場合、例えば、材質を透明プラスチック製にして、内部を見せる形態にして、プラスチック内にドライアラワーや図柄等を入れたり、年齢層に合わせた様々なデザインを、また表面に時計をつけ、多機能も有効利用したものも入れ、それらを季節、環境状況により取り替えられる

【請求項9】

【請求項8】を実施する為、図11の器具を本ボックスと接着面に取り付ける。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】 本発明は、万人が生きて行く上で、文明の高い社会ほど切り離せない分野あり、トイレで直に肌が接触するということから、誰しも関心のある分野である。本発明のボックス製造には、金属加工、プラスチック加工技術が、ティッシュ取り出し口部軟らかな素材は、ゴムやビニール関係の技術が、接着面に添付する強力接着剤は科学塗料技術が重要な分野である。そして、本発明を公共の場所に接続設置する場合は強度を重視し、ネジ止め接続をと考えれば、建築技術が必須分野となる。

【0002】そして、中に入れるティッシュの機能が大切な要因となる、最も適した製品を作り出す為に、欠かせないのが、ティッシュ開発技術分野である。

【0003】

【従来の技術】 トイレ文化は歴史と共に、快適に清潔感のあるものへと移ってきたが、便座という分野に関しては、(1)便座型に切り抜かれた用紙で便座をカバーする方法。(2)電動式でローラー状に紙やビニールが出て便座を覆う方法が数10年続いてきた。これらには欠点がある。前者には衣服(和服やベチコートで膨らんだ服等)や紙のセット方向を理解していない者にとっては、振り向きざまに便器に紙を落とし無駄にすることがある。そして濡れている場合は無意味である。後者は電動式のため、ローラーが停止するまで時間を要するため、子供や緊急時、不便である。そして機械の故障から紙、ビニール詰まりで使用不可が多い。

【0004】ここにて、抗菌剤混入便座が出たが、濡れていたり、汚物付着の場合、抗菌度がいかようであろうと座る気持ちはおきない。次に最近出たのが携帯用の便座除菌クリーナーやスプレーである。各自、自己管理せよということかも知れないが、スプレー(火気厳禁と名うった商品)を全員が持ち歩くことを想像すると、安全性はどうなのか不安を感じる。

【0005】

【発明が解決しようとする課題】 ここ10年ほど、皮膚病や感染症が世界中の関心事となった。その中では一角にしか過ぎない分野ではあるが、“公衆便所”と名付けられたもの以外、大勢の者が、利用する駅やトイレ付き列車、飛行機、劇場、競技場、学校、病院等々のトイレはもとより、常時、清掃員が巡回するホテルやデパートのトイレでも行列の末、中に入ったところ、お手あげ状態になる便座の汚れがある。特記すれば、女子トイレに関して血液の付着していることがしばしばある。加えて、便座に前者の体温が残っていることもある。抗菌便座と書かれていようと使用する気持ちにはならない。

他の行列に並び変える時間的余裕がなければ、結局、前者の汚物処理作業をすることになる。除菌製品を持ち歩いていけばよいが、そのような準備は、誰もしているとは限らない。潔癖症の人々の中には日頃から便座に肌を付けないと聞いた。腰痛もちの者や身体の不自由な方、高齢者には肌をつけないで用をたすことなど無理なことであろう。そこで、早急に改善すべきだと課題に取り組んだ。

【0006】

【課題を解決するための手段】 本発明は、早急な改善、実施を願望するので、最近発売された携帯用便座除菌クリーナーなるものをトイレに常備すれば課題解決をみると考えた。

【0007】その為には、ボックスの形体をどうするか思考錯誤した。当初は筒状にパックされた濡れティッシュ

(数社から販売)を簡単な差し込み式の器具に装着すればと考えたが、(1)上蓋開閉ということで、物を置かれたり、雑菌異物が混入し易いので不向きである。

(2) ひっぱり出して使用の為、紙の繊維が強く便器内に捨てられた場合、下水道詰まりを起す。そして一度に何枚も引き出されることもある。(3) もう一つ市販のトイレ掃除用の紙タオルは便座のみに使用するには、サイズが大き過ぎる、等の欠点が解った。いずれもトイレ内に設置するには、条件を満たしていない。

【0008】そこで、ボックスの機構、特に開閉に関しては、まず上部は、ティッシュ取り出し口にしないこと。ティッシュ取り出し口は、極めて小さくして、雑菌混入を防ぐ。ティッシュ取り出し口まで硬い素材を使って製造した場合、手や指先への衝撃を与える事になるので、図1、図2の10、縦線のところをゴム製あるいは、ビニール製など軟らかい素材を使用することを考案した。

【0009】扉の開閉方向は限定しないが扉が完全に開いた時、壁にぴったり付くことが重要条件となった。それは背面に強力接着剤を添付しておき、簡単に誰れでも、うわ紙を剥がし、設置できるようにとの考えからである。よって、扉の蝶番をボックス内に設定した。

【0010】次にティッシュに関係する考案として、ボックス内にティッシュをセットした時にティッシュが途中で乱雑化しないよう、“おもし”をティッシュの最上部へ置き、適度な重さでティッシュを抑えることとする。また、“おもし”の中央に○穴を開けティッシュに乾燥状態が生じた場合、除菌液を注入する場として利用する。

【0011】もう一つの“おもし”の役目として、外部からティッシュの減少状態を把握出来るように、“おもし”に図9のような手を付けた。外部に出たボールを見てティッシュの補充の判断をすればよい。そして、ティッシュ補充の際、“おもし”を一時固定して置くための小規模な溝を最上部に作った。

【0012】“おもし”手の移動の為の細長い開放部からごみ雑菌の侵入を少しでも防ぐために図7(c)のように、空いている部分に“おもし”手の移動の妨げにならない程度のブラシ状または同等の働きをするものを付ける。

【0013】次に、ボックス底面内側に波型の凸凹片を設置することで、ティッシュがボックス底面に密着して、取り出しに支障がないよう空間部を作った。

【0014】このようにして、本発明は、皮膚病や感染症などと騒がれる昨今、大衆が利用するトイレにティッシュをセットすることで、各自、簡単な便座を拭くということで、納得安心でき、トイレへの不快感解消に繋がります。解決手段として好適であると考えた。

【0015】

【発明の実施の形態】 本発明の実施形態としては、トイレのある場所には大部分トイレットペーパーホルダーが設置されているのが一般的であるので、トイレットペ

ーパーホルダーに直接接続させるという方法が、一番明瞭な実施形態である。

【0016】しかし、これを限定出来ないのは、一般家庭にもあるトイレットペーパー1ロール用、或いはオフィスなどで使われる2ロール用など、トイレットペーパーホルダーの形式が多様であり、加えて、材質も金属製、プラスチック製などで、

【0015】を実施出来ないことが予想されるその場合は、トイレ内の壁面など平面に接着させる。

【0017】理想実施形態としては、利用者が便座に座する直前に眼に入る場所か、便座の高さで、トイレ使用に支障を来すことのない場所に設置されている必要があると言える。

【0018】

【発明の効果】 本発明を設置することで、

【0004】で記した便座除菌用スプレーなどを持ち歩くことから、開放される。

【0019】万人が不安に感じている皮膚病や感染症などからも、解消される。

【0020】本発明を実施すれば、便座という汚いイメージが緩和され、人類共通の使用物への関心も高まることと信ずる。

【図面の簡単な説明】

【図1】トイレ便座除菌ティッシュ入れボックスの全体図、斜視図である。

【図2】(a) 本発明の左側面と正面の斜視図である。

(b) 本発明の右側面と正面の斜視図である。

【図3】本発明の正面図である。

【図4】本発明の背面図(接着接続面)である。

【図5】本発明の平面図である。

【図6】本発明の底面図である。

【図7】本発明の側面図である。(a)、(b)は、現在あるトイレの状況に合わせ、反転することもある。

(a) 左側側面である。

(b) 右側側面である。本発明の多種機能が集合した面である。

(c)

【図7】(b)の拡大図である。

【図8】図1の8(b) T棒を8(a)に差し込み、錠の役目をしている図である。

【図9】図1の12(a) “おもし”と12(b) “おもし”手の斜視図である。

【図10】(a) 図1の11 ティッシュ取り出し補助をする波型の凸凹片の斜視図である

(b) 平面図である。

(c) 側面図である

(d) 正面断面図である。

【図11】

【請求項9】の接続器具の図である。(a)、(b)は平面図、(c)は、合体図である。箱サイズにより器具

BEST AVAILABLE COPY

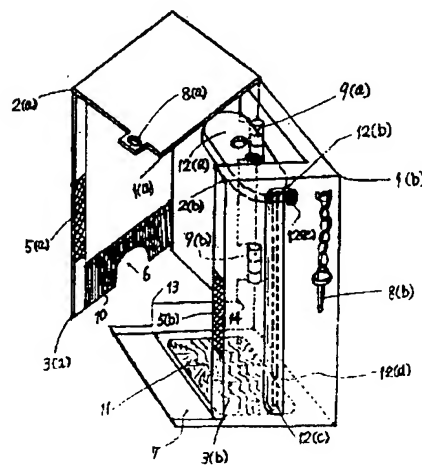
は複数の場合もある。

【符号の説明】

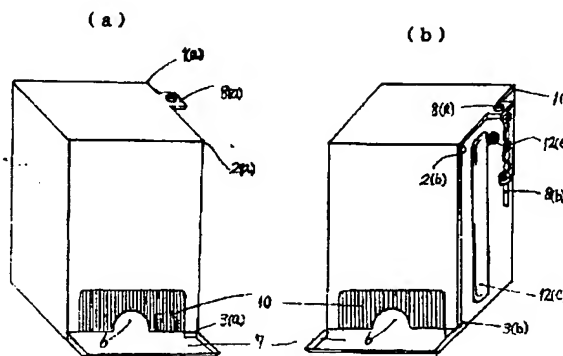
- 1 (a) と 1 (b)、2 (a) と 2 (b)、3 (a) と 3 (b) 扉が閉じた時の接点同士
5 (a) と 5 (b) マグネット扉の相手
6 取り出し口
7 取り出し台
8 (a) 扉開け取っ手とT棒の挿入穴を持つ
8 (b) T棒
9 (a)、9 (b) 蝶番

- 10 ゴム、ビニール等の軟らかな材質部分、取り出し口部
11 波型凸凹面の片
12 (a) “おもしろ”
12 (b) “おもしろ” 手
12 (c) “おもしろ” 外カバー
12 (d) “おもしろ” 手の通路
12 (e) ティッシュ減少の表示物
13、14 内側ボックスの立ち上がり部分

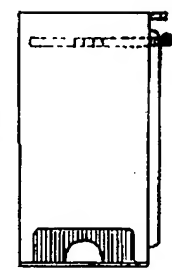
【図1】



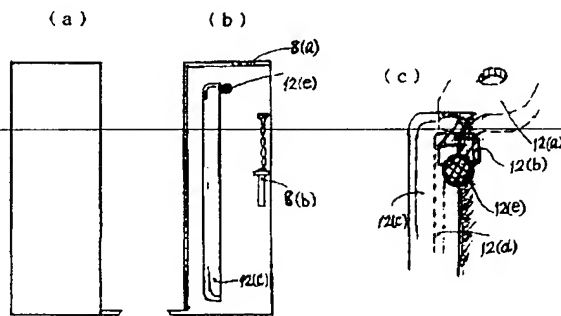
【図2】



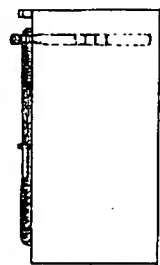
【図3】



【図7】



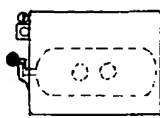
【図4】



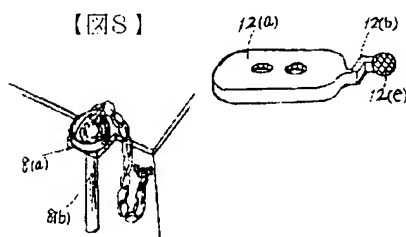
【図5】



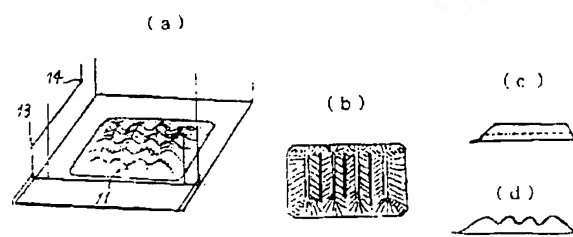
【図6】



【図9】

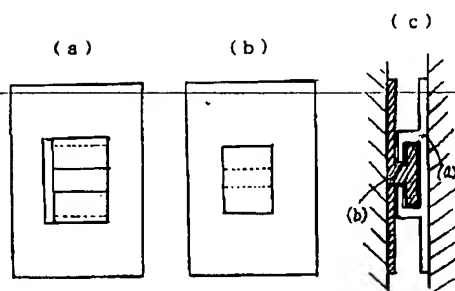


【図10】



BEST AVAILABLE COPY

【図11】



BEST AVAILABLE COPY